

事業の背景・目的

コウノトリの野生復帰に取り組む豊岡市では、市・地域が協働してボランティア等も活用して湿地や里山の管理・整備などの保全を行っている。コウノトリの生息数が増えている中で、地域の担い手の減少や、保全に対する意識の醸成が十分ではなく、今後も持続的に活動していくことが難しくなりつつある。本事業により、ラムサール条約湿地「円山川下流域・周辺水田」の湿地環境や周辺の里地里山の保全や、生物多様性保全に寄与する活動を拡大させるとともに、経済・環境の両面で持続可能な事業（ワイズユース）の実施体制および事業内容の充実を図り、市・地域・地域事業者が協働した持続的な保全と自然資源の利活用を両立させる基盤を形成する。



提供：豊岡河川国道事務所
主な活動エリアである出石川、加陽湿地と隣接する里地里山

事業の内容

豊かな自然環境の保全活動と地域の自然資源を活用した取組みを行っていく基盤を形成するため、地域の里地里山で自然保育や野外プログラム化事業の活動を実施

事業1 自然保育事業

(1) 自然保育活動の実施

- ・親子参加型体験クラス
(30回、のべ300人)

(2) 人材育成

- ・全国の森のようちえんへの視察
- ・各種研修の参加、受講等



▲自然保育活動の様子

事業2 野外プログラム化事業

(1) 各種自然体験・環境体験学習イベントの開催

- ・竹伐採体験、伐採竹を使ったクラフト体験会等の開催
(計7回、参加者98人)

竹の利活用研究▶
(竹紙漉き)

(2) 人材育成

- ・竹の利活用、木工等各種研修会受講
- ・中高生と協働した伐採竹の利活用方法の研究等



事業3 協議会事業

- (1) アドバイザーとの調整等
- (2) スタッフ向け研修の開催
＜小児救命救急法(EFR-CFC)講習、リスクマネジメント講習＞



◀小児救命救急法(EFR-CFC)講習の様子

得られた成果

【事業の成果】

- ・自然保育事業（親子参加型体験クラス）は、安定的に参加者数を確保できるようになり、少しずつ認知度も向上してきていると感じている。
- ・竹の伐採体験等の整備と並行して伐採木を使ったクラフト体験を実施する等、里山の生態系の保全再生の活動と普及啓発に関する取組みを進めた。
- ・本事業の取組みによって交流人口が増加し、地域のにぎわいを創出することができている。

今後の展望等

＜自然保育事業＞

親子参加型体験クラスを軸として子どもクラス等の充実化

＜野外プログラム化事業＞

継続した里山整備体験会等の実施、地域の中高生と連携した竹の利活用の検討、新たなプログラムの検討・実施 等

＜協議会事業＞

事業活動の広報や普及啓発の強化による賛同者及び協力者の獲得、増加を目指す。